

数 学 科

(1) 数学科の学習を通して身に付けたい力

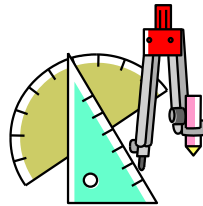
- 身の回りに起こっている事象（物事・内容）について、数学を利用して考える力
（例）数式や図・表、グラフを用いて、事象を単純化・理想化して分析できる力
（例）発想の転換や直観を生かして予想・類推する力
（例）物事の本質を見ぬく力

(2) 授業中の取り組み方

- ① 考える＝今までに学習した知識を利用するにはどうしたらよいか自分の考えをもつ。
- ② 話す＝自分の考えを（数学的な根拠を示して）分かりやすく伝える。
- ③ 聞く＝自分の考えと比較して聞く（同じところはどこか・違うところはどこか）
- ④ 見て・聞いて、話す＝友人の書いたことや話したことを読み取る。

(3) 授業に使う準備物

教科書 ノート ファイル ワーク（問題集） 定規 コンパス



(4) 家庭学習（予習も復習もとっても大切です）

- ① 毎回の数学の授業で学習した問題を再度、自分の力でもう一回解く。
- ② 授業でやった内容と同じところのワークの問題を解く。
- ③ 保護者に数学の問題を出して、解き方を教える。
- ④ 授業でやる前に予習し、一度自分なりに解釈して授業に臨む。
- ⑤ 興味があれば、どんどん先に進み、難しい問題にチャレンジする。

(5) 日常生活の中での学習について

数学だけでなくいろいろな教科に興味をもつ。数学は他の教科の中でも使われている。例えば、理科ではグラフの変化や読みとり、社会科の資料の読み取りや考察、技術科での設計図、製図や美術科でのデザイン、家庭科の調理実習のときの分量の計算などである。もちろん総合的な学習の時間でも使うことがある。普段から「数学」と意識していなくても使っているのが数学という教科である。もし、そのような場面で「数学」を意識できたら「きまりや公式」を意識すると良い。